

会 議 録

会議名	平成 26 年度第 1 回八王子市博物館協議会	
開催日時	平成 26 年 5 月 29 日(木)午後 6 時 30 分～8 時 30 分	
開催場所	八王子市こども科学館集会室	
出席者	委員	小野一之、大村のり子、佐藤栄子、佐藤一、田野倉宏和、藤岡換太郎、 本田怜子、山中幸生、吉田幸子、 (50 音順)
	事務局	牛山清志こども科学館長、田島巨樹郷土資料館長 (文化財課長)、森融こども科学館専門幹兼主査、戸井晴夫郷土資料館担当主査、中村善行郷土資料館担当主査
欠席者	柿崎博孝	
議 題	協議事項 1. 平成 25 年度八王子市こども科学館及び八王子市郷土資料館事業実施状況と施設評価について 2. その他	
公開・非公開の別	公開	
傍聴人の数	なし	
配付資料名	会議次第 平成 25 年度 こども科学館事業実施状況 平成 25 年度 施設評価 こども科学館 平成 25 年度 郷土資料館事業実績 平成 25 年度 施設評価 郷土資料館	

<p>会議の内容 (要旨)</p>	<p>八王子市こども科学館の事業実施状況について森こども科学館専門幹兼主査から説明。</p> <p>— 質疑応答 —</p> <p>佐藤一委員 施設評価にある自己評価の数字の根拠を教えてくださいませんか。以前八王子の図書館で「市民満足度調査」があり、そこには評価基準が明確に示されていました。今ここで評価の数字を教えてもらっても根拠がわからないと評価ができないと思うのですが、いかがですか。</p> <p>森専門幹兼主査 施設評価の1～3については根拠というものはなく、実施したか、しなかったかの基準で評価しました。4以降については実績に基づき、評価した次第です。</p> <p>佐藤一委員 満足度と重要度を比較するとか比較対象が明確になっていない点が気になります。図書館で実施しているような評価の仕方の方がわかりやすいと思うのですが。</p> <p>森専門幹兼主査 具体的な数値の根拠となる満足度調査は入館料やプラネタリウム以外のイベントについては行っていないのが現状なので、検討します。</p> <p>小野会長 評価の根拠については来年度に向けて事務局に検討していただきたいと思います。</p> <p>大村委員 施設評価5の財源確保についてなんですけど、収入として「コニカミノルタサイエンスドーム」のネーミングライツ使用料は入っていないのでしょうか。</p> <p>牛山館長 入館料と財産収入は歳入科目が異なるため今回の報告では入館料のみとさせていただきます。</p> <p>大村委員 こども科学館の収入としてメリットはありますか。</p> <p>牛山館長 メリットはあります。</p> <p>小野会長 事務局から施設評価について説明を受けたわけですが、委員の皆さんが感じた評価とは違った印象を持たれた方もいると思います。どのような相違があったかご意見をいただけたらと思います。</p> <p>佐藤一委員 施設評価の説明として挙げられている内容はかなり重要な要素が含まれています。これを今後にどう活かしていったらよいか検討しなければならないと思います。</p> <p>例として施設評価6のプラネタリウム観覧者数において一般番組では昨年比7,200人減、学習番組では200人増とありますが、基本方針・基本計画に挙げられているような項目を</p>
-----------------------	---

	<p>加味して対応していただきたいと思います。</p> <p>藤岡委員 今回の施設評価の感想としては子どもを対象とした事業については評価が高いが、専門分野の調査など大人を対象とした事業についてはこれからという印象を受けました。科学に関する調査と研究についても今後我々も含めて検討していかなくてはならないと感じました。</p> <p>田野倉副会長 施設評価 11 について疑問を感じます。このままの職員体制のままではいつまでたっても現状の評価を変えることはできないのではないのでしょうか。専門分野についてこども科学館の職員が研究に取り組めるような体制（郷土資料館のように学芸員を増やす）を作るべきだと思います。そのための予算確保をぜひお願いしたい。</p> <p>佐藤栄委員 評価資料を見て感じたことをお話ししたいと思います。自然科学関係の事業展開を図っているとありますが、事業内容を見ると子どもに対して受け身の姿勢を与えているように思われます。我々は子どもが自ら考えて積極的に行動できるように指導者が意識して教えていかないといけないと思います。評価項目についてもそういった内容を踏まえたものであることが望ましいと感じました。</p> <p>牛山館長 自然科学関係の事業展開といたしますのは、本物の昆虫や鳥の標本を持ち込んで子ども向けの講座や、地球科学についての講座を開催し、今までにない体験型の講座を実施できたことが挙げられます。</p> <p>佐藤一委員 こども科学館の基本計画及び基本施策を拝見しましたが、教育現場の実情に合っていないといけないと思います。本年度から文部科学省で総合学習のあり方について小・中学校でシラバスを作成するよう指導されています。特に小学校は自然体験をテーマにしていますからそれに即した形のをこども科学館で事業として実施してみてもどうでしょうか。</p> <p>牛山館長 ご希望に応えられるよう検討いたします。</p> <p>吉田委員 こども科学館の事業は現在の体制だからこそできていると思います。職員の皆さんの努力はすばらしいものだと思います。職員が異動などで体制が変わってしまったらできなくなったということのないように、職員の資質向上を目指してほしいと思います。今の事業を広げていくために施設評価 7 の教育普及事業を充実させることがひとつの糸口になるのでは</p>
--	---

	<p>ないでしょうか。</p> <p>本田委員 施設評価 11 で展示物の更新、科学館友の会の創設と検討についてできていないとのことでしたが、なぜできないのでしょうか。</p> <p>牛山館長 展示物の更新ができていない理由として予算の確保ができていないということがあげられます。このことについては包括外部監査の際にも指摘されています。博物館協議会の委員の皆さんから意見をいただき、館として展示物更新計画を作成し同時にその予算についても検討していきたいと考えております。小野会長からもご指摘のあった財源確保についてですが、ネーミングライツについての使用料 250 万円をこども科学館の事業費として確保できており、これを有効活用していきたいと考えております。</p> <p>同じく包括外部監査では財源確保の関係で館の年間利用者数を増やす努力をするようにとの指摘も受けております。その際年間パスポート制度を取り入れる案を例示されております。博物館協議会の意見をいただきながら検討していきたいと考えております</p> <p>小野会長 先ほど施設評価の評価基準について問題になりましたが、数値は変動するものと考えます。評価が低かったものについては問題が明らかになったと受け止めて来年度に向けて改めて体制を見直し、検討していただければいいのではないかと思います。</p> <p>私の印象を簡単に述べさせていただくと、施設評価が金額や人数といったものに偏りすぎている感じがします。数値は変動するものなのでただ前年度を上回ればいいといったようなことではなく一定の基準を設定してみてもどうかと考えます。収入については総収入の何パーセントかを指すというようなものにしてはどうでしょうか。入館者にしても数の多い、少ないで判断するのではなく施設の適性の問題・事業のオリジナル性（施設の特性を活かした事業かどうか）・緊急性（他の事業より優先すべきものかどうか）・収益性（経費に見合った収入が見込めるかどうか）・有効性（事業を実施した場合の成果を把握できているかどうか）・市民参加性（事業の実施にあたって市民参加・市民協働がなされているか、対象市民に偏りがいいか）・市民ニーズに合ったものかどうかといっ</p>
--	--

	<p>た観点を評価材料として、今後の事業展開に役立ていくという ことではどうでしょうか</p> <p>牛山館長 評価指標については今後検討していきたいと思います。</p> <p>佐藤一委員 実施状況についてですが 2 工作・イベント等利用状況の表 に「講演会等」というデータも追加して実数を挙げた方が 表として見やすくなるのではないのでしょうか。</p> <p>牛山館長 そのようにいたします。</p> <p>続いて、八王子市郷土資料館事業実施状況について中村郷土資料 館主査から説明。</p> <p>— 質疑応答 —</p> <p>佐藤一委員 施設評価における満足度調査についてうかがいます。ここ には肯定的な意見が掲載されていると思いますが、否定的な 意見についてはなかったのでしょうか。あったのであればど のような意見があったのか教えていただけますか。</p> <p>中村主査 否定的な意見もありました。展示室の冷暖房の効果が低い、 資料の展示説明が専門用語が使用されてしまいがちなのも っとわかりやすい説明がほしいとのご意見も寄せられまし た。</p> <p>佐藤一委員 こういった評価をする際は肯定的な意見ばかりではなく、 否定的意見についても掲載してもらってもっと親近感を持っ て評価を見ることができると思います。それから郷土資料館 実績についてお尋ねします。特別展・コーナー展の入館者数 の合計の数字と年間入館者数の数字が合わないと思いますが、 その理由は何ですか。</p> <p>田島館長 こちらについては、コーナー展「日中戦争～青年教員の出 征～」と企画展「タイムトラベル 江戸時代の八王子を行く」 展示が 7 月 19 日から 9 月 1 日の期間重なって開催されてい ることによるものです。</p> <p>大村委員 施設評価の「2 危機管理・防火体制」について質問します。 郷土資料館・こども科学館とも実際入館者が多数来館してい る中で防災訓練を実施しているのでしょうか。両館とも職員 が少ないと思いますし、その中で多数の来館者を避難誘導す るのは大変難しいことではないかと心配になります。そうい う状況を踏まえた防災訓練を実施する予定はありますか。</p> <p>中村主査 例年 11 月に消防署の職員に来館してもらい、防災訓練を</p>
--	---

	<p>実施しています。通常の開館日に行なっているものですから、可能な限り来館いただいている一般の方々にもご参加いただいています。</p>
牛山館長	<p>こども科学館は消防署の職員や入館者が参加する訓練は実施してはませんが、当館職員とプラネタリウムの委託会社職員が参加するという形で実施しています。</p>
大村委員	<p>プラネタリウム内は非常口の位置を知らせるアナウンスもあって避難誘導體制が整っている感じがしますが、他の施設については心配になります。</p>
牛山館長	<p>例えばこの会場にいて地震が発生したとすると1階事務室にいる職員がここまで走って来て誘導することになるので職員が少ないという点で心配はあります。</p>
森専門幹兼主査	<p>平成22年の東日本大震災の発生時は1、2階、プラネタリウム、パソコン教室で事業を実施していましたが、当館の職員が手分けして避難誘導にあたり、来館者のみなさんを館外に無事避難していただくことができました。確かに館内が来館者で満員の状況も想定し、日常から避難経路に障害物がないか等、設備の点検を常に行なっていくことが重要だと考えています。</p>
牛山館長	<p>大村委員のおっしゃるとおり来館者が多い時に訓練を実施しないと実践的ではないと思います。</p>
山名委員	<p>施設評価表の中で郷土資料館は危機管理マニュアルについて記載がありますが、こども科学館は危機管理マニュアルを持っていないのでしょうか。</p>
牛山館長	<p>危機管理マニュアルについては館独自のものは作成しておりません。市役所全庁を対象としたマニュアルに基づいて危機管理対策を行なっています。</p>
山中委員	<p>先ほど東日本大震災の際の対応について説明がありました。その際に対応した職員の経験については引き継がれていると思いますが、職員は異動するわけですから別の場所から配属された職員でも対応できるように館の危機管理マニュアル作成は必要だと思います。</p>
牛山館長	<p>プラネタリウムについては委託会社でマニュアルを作成して職員間で情報を共有しています。</p>
山中委員	<p>プラネタリウムの投影機など設備について耐震基準は設定されているのでしょうか。</p>

	<p>森専門幹兼主査 建築基準において耐震設定になっております。</p> <p>小野会長 こども科学館のような公共施設ですと来館者だけではなくて避難してくる可能性があることも想定しておかなくてはならないと思います。</p> <p>山中委員 そのことに関連するのですが、避難してくる場合を想定して大学では空き教室に食料・水等を備蓄しているのですが、両館の食料・水等物資の備蓄状況についておうかがいしたいのですが。</p> <p>牛山館長 こども科学館では備蓄はしておりませんが、すでに部署によっては備蓄を開始しています。先ほど小野会長からお話があったように施設に避難してくる方についてはすぐに帰宅を促すのではなく、一時滞在していただく方針だからです。</p> <p>田島館長 現在市の地域防災計画で備蓄する施設が決まっています。郷土資料館は備蓄がありませんが近隣の第七小学校では備蓄しています。文化財関連施設の中では八王子城跡の管理棟に食料等の備蓄が3日分ほどございます。</p> <p>大村委員 郷土資料館施設評価の中の「1 使命と計画」で「八王子ビジョン 2022」に計画目標として文化財関連施設の利用者数を平成 29 年度 7 万人、平成 34 年度 10 万人という数字を挙げられているとのことですが、どうやって決めたのですか。</p> <p>田島館長 これは郷土資料館として 3 万人、他に文化財関連施設として八王子城跡ガイダンス施設 6 万人、絹の道資料館 1 万人の入館者数を合算し目標値としたものです。現状の数値を踏まえ、期待をこめておおよその数字を設定しました。</p> <p>藤岡委員 両館の施設評価を見ていると郷土資料館はお年寄りが来館され、こども科学館は子どもが来館するという特色があるように思いますが、両館で工夫して大きな計画に基づき、お互いお年寄りや子どもが参加できるような相互受入を行なう必要があるのではないのでしょうか。両館でお年寄りや子どもが参加できるような内容の講座を検討してみるべきだと思います。</p> <p>こども科学館についてですが、評価 11 についてまず大きなテーマを設定し、そのテーマに即した展示を行なっていないと評価は上がってきません。郷土資料館は子どもが来館してくれるような事業を考えていくべきだと思います。</p>
--	--

	<p>吉田委員 私たちが博物館協議会の委員として活動するようになってからだいぶ経ちます。この間、こども科学館と郷土資料館両館のタイプが全く違うということを共通認識として持つことができました。先ほど藤岡委員から両館の相互乗入についてご意見がありましたが、両館のそれぞれの良さは分かっていたのだから、我々は協議会委員として何をお手伝いしたらいいのかももう少し明確にした方がいいと思います。それがこども科学館の施設評価 11 につながってきます。専門分野の明確化が進めば展示物の更新や科学に関する調査と研究も可能になり、職員の資質の向上につながっていきます。科学館友の会によって地域とのつながりも生まれます。地域の企業や大学・高校・NPO との連携について触れていますが、最も深い連携関係にあるのは郷土資料館だと思うので、評価の項目として「郷土資料館との連携」も挙げてほしいです。こども科学館と郷土資料館のそれぞれのホームページを見た時にこども科学館と郷土資料館が共に事業を進めていることが分かるように相互乗入できるように整理していくことが大事なのではないでしょうか。</p> <p>田島館長 昨年の秋に大久保長安スタンプラリーという催し物を実施しました。その際、図書館・こども科学館・郷土資料館 3 館にスタンプ台を設置して参加者が訪問した際に各施設を見学していただき、大変ご好評をいただきました。施設間の連携を進めていく上で反省材料も生まれましたが、良い点もありましたので今回の経験を活かし、今後も同じような事業を展開していきたいと考えています。</p> <p>藤岡委員 再来年の NHK 大河ドラマでは「真田幸村」を取り上げるということで、後北条氏との関係で八王子も関連してくると思いますが、関連図録を発行したりすることも必要だと思います。</p> <p>田島館長 本年度は平成 24 年度に発行して完売していました展示図録「八王子城」を昨年の池跡の発掘調査資料を新たに追加して再販いたします。</p> <p>藤岡委員 八王子城跡の地質調査等こども科学館にも関連するような内容も展示図録に反映させて共存化をはかれたらいいと思います。</p> <p>吉田委員 郷土資料館とこども科学館の職員が一緒に事業に取り組む</p>
--	---

というのはとてもいいことですが、科学の話を極めていくと文化的な発想とつながります。例えば八王子の遺跡と気象について見ると内容的に異なっているにもかかわらずリンクする何かがあるので、その点を子どもたちに教えようとする時に両者を考えることによって、現実の生活に密着した気象のことがわかってくるのではないかと思います。

田島館長 森専門幹兼主査は郷土資料館に在籍していたことがあり、館の事情にも通じているので、そういったことが出来るか相談しながら検討していきたいと思います。

森専門幹兼主査 こども科学館では『紙飛行機を作る』講座を実施しました。郷土資料館でも5月5日に『紙飛行機を作って飛ばそう』という企画を実施しています。戦時中の教科書に掲載されていた紙飛行機の作り方を参考に、当時の広告用紙と同じ材質の紙を使って作るというものでしたが、事前に担当職員が私たちの講座を参考にしたいと見学に来てくれました。同じような講座でもこども科学館は科学の面から、郷土資料館は歴史に特化した面から取り組むことができたというのも両館の連携のひとつだったのではないかと思います。

小野会長 両館とも施設の特性を踏まえて活かすということですね。両館の施設評価について感想を言わせていただくと郷土資料館についてかなり控えめな印象を受けました。先ほど大久保長安の特別展を行なって郷土史への関心を高める効果があったとの説明がありましたが、もっと大きな効果があったように思います。スタンプラリーの連携事業の説明がありましたが、例えばこのような全市的な事業を実施することによって中核市に移行するための市のアイデンティティ作りに寄与したり、市史編纂事業が進められていると思いますがこれにしても資料館の半世紀近くの活動実績がなかったら実現できないことだと思います。こういったことをもっと声を大にして訴えて新博物館構想にも生かせるような、控えめではない評価にしてほしいと思います。

小野会長 その他何かありますか。

田野倉副会長 特別展開催前後に八幡町の商店街を通りかかったところ、「大久保長安クイズ」が掲載してあるシャッターを見つけました。町でも取り組んでいた今回のような企画は10年後くらいでもいいのでまたぜひ実施してほしいと思

	<p>います。</p> <p>田島課長 検討してみます。</p> <p>小野会長 他に何かありますか。</p> <p>佐藤一委員 博物館協議会の関連資料については今まで電子メールや郵便で送付していただいておりますが、今後は電子メールで送付していただければそれを印刷して持参します。いかがでしょうか。</p> <p>田島館長 委員のみなさんの個人のご希望に沿う形で進めさせていただきますので事務局にお申し出ください。</p> <p>小野会長 他にないようでしたら平成26年度第1回八王子市博物館協議会を終了いたします。どうも有難うございました。</p>
--	---